

## AIとクラウドが提案するこれからの補綴フロー AI and Cloud Empowered Future Prosthetic Workflow



Masami Arai

荒井 昌海

医療法人社団 翔舞会エムズ歯科クリニック

インプラント治療において、補綴は治療の最終段階であり、患者満足度に大きく影響する。しかし、従来の補綴フローでは、CT撮影や模型製作、試適などの工程が煩雑であり、時間とコストがかかるという課題があった。

近年、AIやクラウド技術の進歩により、補綴フローの効率化が進んでいる。AIを用いることで、CT画像から骨格情報を自動抽出したり、模型製作を3Dプリンティングで代替したりすることが可能になる。また、クラウドを用いることで、複数の歯科医師が共同で補綴計画を立案したり、患者と遠隔でコミュニケーションを取ったりすることが可能になる。

本演題では、AIとクラウド技術がどのように補綴フローを効率化していくのかについて、具体的な事例を1つ交えて解説する。

### 演題のポイント

- ・ AIとクラウド技術により、補綴フローが効率化される
- ・ CT画像から骨格情報を自動抽出したり、模型製作を3Dプリンティングで代替したりすることが可能になる
- ・ クラウドを用いることで、複数の歯科医師が共同で補綴計画を立案したり、患者と遠隔でコミュニケーションを取ったりすることが可能になる

### 演題の目的

本演題では、AIとクラウド技術がどのように補綴フローを効率化していくのかについて、具体的な事例を交えて解説することで、歯科医師や歯科衛生士の方々に、AIとクラウド技術の最新動向を理解していただきたい。

### 【略歴】

東京医科歯科大学歯学部卒・同大学院修了  
日本口腔インプラント学会専門医  
EAO（ヨーロッパインプラント学会）認定医  
エムズ歯科クリニック開業  
大阪歯科大学 客員教授  
東京医科歯科大学 非常勤講師  
MID-G 最高顧問